⑷　落札者の決定方法
①　落札予定者は、競争参加資格の確認がなされた者の中で、上記３⑴により決定するものとする。(詳細は、入札説明書参照）ただし、落札予定者となるべき者により、当該契約内容に適合した履行がなされないおそれがある、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがあって著しく不適当と認められるときは、契約制限価格の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最も総合評価値が高い者を落札予定者とすることがある。
②　落札予定者が提出した工事費内訳書の各単価について、合理的な範囲で単価の見直しの協議を行い、両者合意のうえ落札予定者を落札者とする。
⑸　配置予定技術者の確認　落札者決定後、資格要件を満たしていないことが判明した場合や、コリンズ等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約を締結しないことがある。また、他の機関の工事を含めた他の工事と重複しているにもかかわらず入札し、専任制違反により契約を締結できなかった場合は、競争参加停止措置を行うことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、申請書等の差し替えは認められない。
⑹　調査基準価格を下回った価格をもって契約を締結する場合においては、専任の監理技術者等の配置が義務づけられている作業において、監理技術者等及び現場代理人とは別に、上記２⑼に定める要件と同一の要件（上記２⑼②に掲げる工事経験を除く。）を満たす技術者を専任で配置すること（詳細は入札説明書参照）。なお、開札後、専任の技術者を追加配置できないことが判明した場合は、競争参加停止措置を行うことがある。
⑺　手続における交渉の有無　有
⑻　契約書作成の要否　要（本件は電子契約を推奨する。）
⑼　本工事に直接関連する他の工事の請負契約を、本工事の請負契約の相手方と随意契約により締結する予定の有無　有
⑽　関連情報を入手するための照会窓口　上記４⑴に同じ。
⑾　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も、上記４⑶により、申請書等を提出できるが、競争に参加するためには、開札時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
⑿　申請書等の内容についてのヒアリングを実施する場合は、その実施日時及び場所等を別途通知する。(詳細は入札説明書参照）
⒀　低入札価格調査を受けた者との契約に関する事項　低入札価格調査を受けた者との契約に関しては前払金の割合を当該年度の出来高予定額又は修正出来高予定額の10分の２以内とする。

6　Summary
⑴　Official in charge of the contract of the procuring entity : Hiroto Endo, Director of Osaka Business and Maintenance Bureau of Hanshin Expressway Company Limited.
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Large-scale reinforcement and repair of PC girder bridges in Sakai Route and other works.
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. January 23, 2019
⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. March 11, 2019 (tenders submitted by mail 5 : 00 P.M. March 11, 2019)
⑹　Contact point for tender documentation : Accounting Group, General Affairs and Business Management Department, Osaka Business and Maintenance Bureau, Hanshin Expressway Company Limited, 3－1－25 Ishida, Minato-ku, Osaka-shi, 552―0006 Japan TEL 06―6576―3881

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成30年11月20日
阪神高速道路株式会社契約責任者
大阪管理局長　遠藤　博人

◎調達機関番号　421　◎所在地番号　27
○平成30年阪神高速公告第35号
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　ＰＣ桁等大規模修繕工事(30－３－松)
⑶　工事場所　大阪府道高速大阪松原線（14号松原線）(大阪市浪速区日本橋東３丁目～大阪市平野区流町１丁目付近)
⑷　本工事は、阪神高速道路株式会社が維持管理するＰＣ桁に対して詳細調査を実施し、健全性を把握するとともに、健全性の低下が確認されたものについては、現行基準レベルまで性能を向上させるものである。
⑸　工期　契約締結日の翌日から1,350日間
⑹　工事概算数量
調査工　１式（76径間、32基）
橋梁補修工　１式（76径間）
ＰＣ桁床版部補強工　約19,000㎡、ＰＣ桁補強工（外ケーブル）　約500本
コンクリート表面保護工　約53,000㎡
コンクリート構造物補修工　１式（４径間）
ＡＳＲ桁補修工　１式（12径間）
ＡＳＲ橋脚補修工　１式（49基）
仮設工　１式
共通仮設費　１式
詳細設計費　１式
⑺　本工事は、あらかじめ指定する技術提案を求め、品質確保のための体制を確認し、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型・通常タイプ）の試行工事である。
⑻　本工事は、全ての入札参加者から入札価格に対応する工事費内訳書の提出を求める工事である。
⑼　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
⑽　本工事は、入札を原則として電子入札システムで行う対象工事であり、阪神高速道路株式会社ホームページに掲載の電子入札運用基準を適用する。なお、例外的に電子入札によりがたい者は、競争参加資格確認申請書及び添付書類（以下「申請書等」という。）の提出時までに、同基準に基づき阪神高速道路株式会社（以下、旧阪神高速道路公団を含め、「阪神高速」という。）の承諾を得て紙入札方式によることができる。
ただし、紙入札方式は一般書留、簡易書留又は民間事業者による信書の送達に関する法律第２条第６項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第９項に規定する特定信書便事業者による同条第２項に規定する信書便（以下「郵送等」という。）による入札のみとし、直接（持参）入札は認めない。
⑾　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥの対象工事である。
⑿　本工事は、三者会議の対象工事ではないが、受注者が三者会議の開催の要請をした場合については、明らかに三者会議の必要性が乏しいと判断される場合を除き三者会議を実施することができる工事である。
⒀　本工事は、開札後に、落札予定者と阪神高速が、合理的な範囲で入札価格の見直しの協議を行い、入札価格を変更できる価格協議方式の対象工事である。
⒁　本工事は、競争参加資格確認申請時に、競争参加希望者から工事費見積書の提出を求め、内容の妥当性が確認できた内訳項目を契約目安価格に反映させる見積書審査方式の試行工事である。
⒂　本工事は、週休２日化を促進する試行工事（受注者希望方式）である。(週休日は、現場閉所とする)
なお、受注者は、週休２日について施工計画書に記載し監督員に提出するものとする。また、週休２日の取得実績に応じて、工事成績評定で加点評価する。
2　競争参加資格
⑴　阪神高速道路株式会社契約規則（平成23年阪神高速規則第10号）第６条の規定に該当しない者であること。
⑵　一般競争参加資格の認定　開札時に阪神高速における「橋梁（ＰＣ）」に係る平成29・30年度の一般競争参加資格の認定を受けていること。
なお、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、阪神高速が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。